

# 国立がん研究センターがん対策情報センター がん統計研究部 地域がん登録室便り

● 松田 智大 松田 彩子

国立がん研究センターがん対策情報センター がん統計研究部

前回NL原稿を書いたときには、暑い夏を節電しつつどう乗り切るか、を考えておりましたが、すっかり「暑い」という感覚を忘れてしまい、寒波に凍えています。学習せず同じ過ちを繰り返すのは最もいけないことですが、過去を忘れて新鮮な気持ちで毎日過ごす能力も必要だと最近は感じています。

## 1 | 全国がん罹患モニタリング集計の実施

事業実施38道府県を対象に、全国がん罹患モニタリング集計(MCIJ2007)のデータ提出依頼をし、35県(参考データ2県含む)からのデータの集計作業を進めています。がん診療連携拠点病院での院内がん登録の整備の、地域がん登録データ精度向上への効果が期待されるところです。

## 2 | がん登録の標準化と精度向上

標準データベースシステム(標準DBS)利用地域は大きく拡大し、北海道、青森、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、新潟、石川、福井、山梨、長野、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、島根、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、沖縄の32地域で稼動しており、静岡、福岡、鹿児島島の3地域でも導入作業中です。今年度中には35道府県で標準システムが導入されることになり、来年度には更に宮城、東京、埼玉で導入が予定されています。文字通りの標準化が大きく前進し、地域がん登録事業の全国実施と相まって、日本の地域がん登録にとって記念すべき1年となるでしょう。

## 3 | 第3期中間調査

今年度が対がん10か年第3期4年間のちょうど中間地点に当たること、昨今の新規事業開始で地域がん登録の環境が大きく変わったことから、第3期中間調査と題し、MCIJ2007と同時期に現況調査を実施致しました。長めの調査票に御協力頂き感謝しております。結果を報告書にまとめて都道府県及び関連機関に配付するとともに、がん対策情報センターのウェブサイトにも掲載する予定です。

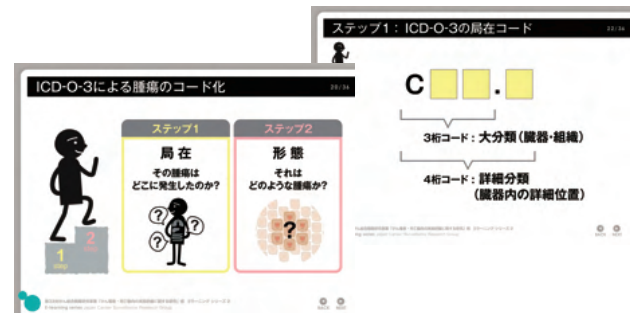
## 4 | 地域がん登録行政担当者・実務者講習会の開催

がん登録を担う実務者の育成と行政担当者への情報提供は、がん対策情報センターのミッションです。今年度も、12月7日～8日の日程で地域がん登録行政担当者・実務者講習会を開催し、105名の参加が



コーディング演習の様子▲

ありました。昨年度からの変更点は、がん概論とICD-O-3のコーディングが、Eラーニングで予習できる環境が整備されたこと、2日目の演習ではコーディング演習、標準DBS操作、統計実習と趣の異なるプログラムを並行実施したことです。来年度は、アンケートで頂いたご意見を反映し、より効果的な研修の実施を目指します。



## 5 | 第3次対がん「がんの実態把握に関する研究」班事務局

研究班主催で、地域がん登録事業会議を2月15-16日にがん研究振興財団国際研究交流会館にて開催する予定です。研究班での今年度の成果を皆様にご報告するとともに、各県での事業実施の様子を伺う機会としたいと思っています。ぜひご参加の上、担当者間交流のお役にしてください。